

第三次大山町総合計画基本計画（案）へのパブリックコメントの実施結果について

- 1 実施期間 令和7年11月26日から令和7年12月25日まで
- 2 意見及び提案者数 5人
- 3 意見及び提案件数 9件
- 4 意見等の内容及び意見等に対する本町の考え方

番号	項目又は 頁数	意見等の内容	意見等に対する本町の考え方	提出意見 を踏まえた 計画案の修正 の有無
1	施策27 ～施策30 p.112 ～p.119	<p>12月5日に行われたパブリックコメントに関する住民説明会に参加しました。総合的な計画ですので、細かな項目は反映していないと思います。私の読み解き不足かもしれません。しかしながら、大山町の最上位に位置する計画ということですので、以下について心配している町民がいると知っていただければ幸いです。</p> <p>私は、町の自然環境についてももう少し踏み込んだ施策を期待しています。計画全体をとおして感じたのは、今ある自然がこれまでどおり続くと思っておられるように感じました。施策27～施策30にある「自然を大切に自然とともに歩むまちづくり」の取り組み方針について、「守る・大切にす」ための主要指標や関連計画が、過去の取り組みを見ている気がします。今ある自然を次世代に残すために、これからの取り組みが必要だと思えます。自然を活用したいなら、人の力で守って持続することを考えていただきたいです。国内外の社会情勢や県の動きを参考に考えるなら、以下の項目は含まれているか気になります。</p> <p>〈施策29〉脱炭素社会を実現し、地球温暖化の抑制に貢献しよう。について →電気自動車(EV, PHV, HV)の普及。公用車の〇〇%を電気自動車にするなどの目標設定。 →宅配BOXの補助金はすごくよいと思えます。県からの補助金給付額を越えても、町が補助するなどを期待します。高齢者は在宅していても出ないことがあります。 →大型風力やメガソーラーの設置については、慎重になるべきだと思います。景観、</p>	<p>本町において、大山から日本海までの豊かな自然環境はまちづくりの土台であり、非常に重要なものであると認識しています。基本構想においては、五つの基本目標の一つに「自然を大切に自然とともに歩むまちづくり」を掲げ、一人ひとりが自然の大切さを再認識し、自然との共生が図られるまちづくりをさらに推進したいと考えます。</p> <p>脱炭素社会に向けては、令和7年3月『地球温暖化対策実行計画(事務事業編)』を策定し、公共施設等における温室効果ガスの排出削減をめざしています。今後『地球温暖化対策実行計画(区域施策編)』の策定に取り組み、町全体での取組へつなげたいと考えています。電気自動車については、当該計画において、公用車の導入・更新の際に、特別な理由がない限り、電気自動車の導入をめざし、電気自動車の導入が難しい場合は、燃費が優れたものを選択する方針としています。目標設定に関しては、充電設備や財政状況等を踏まえながら選択すべきものと考えますので、本計画においては困難と考えます。置き配ボックス設置補助金に関しては、申請状況や財政状況等を踏まえながら検討します。</p> <p>開発行為については、現状、大型風力発電・メガソーラー発電等の発電施設を用途とするのみで開発の規制を行うことはできませんが、地域の理</p>	有

		<p>騒音、濁水、バードストライク、事後処理、道付けなどによる伐採など様々な問題を聞きますが、何よりこれらの設置によって大山町の生物多様性が奪われたら、大山町の魅力って何？となるのでは、と心配します。自然の豊かさが大山町のウリですから、これらの設置により多様性が失われますので、設置許可については慎重をお願いします。</p> <p>〈施策28〉目の前のかげがえのない風景を守り、自然の力を活かそう。</p> <p>〈施策30〉豊かな自然を活用し、大山の恵みと共生するまちを続けよう。について</p> <p>→ネイチャーポジティブ宣言に賛同。町内外の賛同自治体や企業との連携。の可能性はないでしょうか。</p> <p>→自然共生サイト登録〇〇%を目標。など、自然の恩恵を受けたいなら、守り活用する取り組みを期待します。</p> <p>→〈施策30〉関連計画は、アウトドアライフ構想と大山町自転車活用推進計画だけの記載。利用することだけが関連計画となっているのが残念です。</p>	<p>解や環境への配慮を前提に自然景観や生物多様性等の保護の観点も踏まえた取扱いを検討したいと考えます。「地域の理解や環境への配慮を前提に、自然景観や生物多様性等の保護の観点も踏まえること」を計画案に反映します。</p> <p>自然環境について、自然資源の活用には保護・保全の視点が必要だと認識しております。施策28においては、自然が持つ公益的機能や生物多様性など保護・保全の観点から、施策30においては、それらをより幅広く活用する観点からの施策としています。ネイチャーポジティブ宣言、賛同自治体や企業との連携、自然共生サイト等に関しては、今後、各種施策をいっそう推進しようとする中で、施策の状況を鑑みながら検討したいと考えます。</p>	
2	<p>施策07</p> <p>p.68 ～p.69</p>	<p>施策07 一次産業にあこがれる人を増やそう の中の【取組方針】3 無理せず一次産業を続けていくことができる環境をつくる の中の①のところに“担い手も一般農家も共生できるしくみづくりを行います” というような文章を加えていただきたい。</p> <p>(理由)</p> <p>担い手だけでは大山町内全農地の維持は不可能です。 高齢者でも意欲ある農家は、生産活動を継続してもらおうほうが担い手への負担が緩和されスムーズな農地維持ができると考えます。高齢者の健康維持のためにも、農作業によって身体を動かすことは良いことであると考えます。ともすれば、このような計画は、大型農家への農地集積の方向のみが強調されがちです。最後まで幸せに大山町で暮らしたいと願う町民の気持ちに寄りそった計画にしていきたい。</p>	<p>施策07【現状と課題】において、「(前略)大規模経営者を基幹としながら小規模経営者を下支えするなど、地域全体で持続的な一次産業としていくことが大切です。これらに対して、機械化・省力化など負担軽減や地域資源の保全や育成への取組、一次産業従事者へのさまざまな支援など、まちの魅力ある産業を維持・発展させていくことが必要です。」との認識を掲げております。</p> <p>産業施策としては、大規模農家に基幹作業を担っていただき、役割分担を図ることで小規模農家の機械・施設導入等の負担を軽減し、小規模農家の経営維持につなげていくことで“担い手と一般農家”の共生を図るほか、様々な条件の異なる担い手がいる中で、これまでのように経営規模に応じた支援によって、地域全体で一次産業の維持を図りたいと考えます。</p>	無

3	<p>施策07</p> <p>p.68 ～p.69</p>	<p>日本の食料安全保障を守るための米政策の抜本的改革について</p> <p>1. はじめに</p> <p>日本の米農業は、長期的に価格低迷・高齢化・後継者不足により、生産基盤の弱体化が急速に進んでいます。</p> <p>このままでは、10年以内に国内の米生産量が安全保障上必要な水準を下回り、国家的なリスクとなる可能性が高いと考えます。食料自給率の向上と農地保全は、国防と同義です。そのため、米の価格政策を「家計負担の抑制」から「国家の存続を支える投資」へと転換する必要があります。</p> <p>2. 現状の問題点</p> <p>(1) 米価の急落と農家の赤字構造</p> <p>近年まで米価が低く抑えられ、農家の多くが赤字の中で生産を継続してきました。その結果、生活が成り立たず、離農が進んでいます。</p> <p>(2) 生産者の高齢化と後継者不足</p> <p>農家の約7割が高齢者であり、後継者がいない地域も多数存在します。このままでは農地維持が不可能となり、国内生産力は急速に低下します。</p> <p>(3) 備蓄米による価格抑制という矛盾</p> <p>米価が上昇すると備蓄米を市場放出し価格を下げる政策は、農家の経営悪化、若者の参入意欲の減退、農地の縮小を招き、長期的な自給率低下を加速させています。</p> <p>(4) 輸入依存の拡大リスク</p> <p>国際情勢が不安定化する中、輸入に頼ることは明確な安全保障上の脆弱性を意味します。</p> <p>3. 政府に求める政策転換</p> <p>日本の将来を守るため、以下の政策を強く提言します。</p> <p>◆政策1: 2030年までに米価を“現在の2倍水準”へ引き上げる国家方針の明確化</p> <p>米価を計画的に上昇させることで、農家の安定した利益確保、若い世代の農業参入促進、農地の維持・集約化、国内生産力の増強が実現します。</p> <p>“2030年に米価を2倍にする”という明確なビジョンを示すことで、米農業は「衰退産業」から「将来性ある成長産業」に転換できます。</p>	<p>施策07【取組方針】2「大山町ならではの強みを生み出す」において、水稻生産を含め、生産拡大と基盤強化等の支援を行う方針を掲げています。</p> <p>米価の上昇については、国の方針や需給バランス、生産品の品質等、様々な要因があるものと考えますが、町として、生産者の支援を中心とした施策を展開したいと考えます。</p>	無
---	-----------------------------------	---	---	---

		<p>◆政策2: 国民への広報戦略の強化(米価上昇＝国を守るための必要な投資)</p> <p>政府は、米価が高いことの理由を国民に丁寧に説明する必要があります。米価が上がることで農家が生活できる、農地が守られる、食料危機に強い国になる、こうしたメッセージを積極的に発信し、国民の理解を得る広報活動を強化すべきです。</p> <p>◆政策3: 若者の農業参入への徹底支援</p> <p>初期投資の補助、スマート農業導入の支援、新規就農者への収入保障、農地バンクの拡充、米づくりを“稼げる職業”にする仕組みづくりが不可欠です。</p> <p>◆政策4: 備蓄米の運用方針の見直し</p> <p>価格抑制のための市場放出ではなく、供給不安時の緊急対応、自給率の底支え、国際危機への備え、という本来の目的に即した運用に切り替えるべきです。</p> <p>4. 結論</p> <p>米は日本人の主食であると同時に、国家を支える基盤産業です。</p> <p>農家が安定して利益を得られる仕組みを作らなければ、農地は失われ、自給率は低下し、将来の日本の安全保障は危機にさらされます。</p> <p>2030年に米価を2倍にするという明確な国家目標を掲げ、日本の米農業を「守るべき産業」から「成長産業」へ転換させることを強く求めます。</p> <p>この政策転換こそが、日本の食料安全保障を守り、未来の世代に安定した食生活を引き継ぐ唯一の道であると確信しております。</p> <p>このメールは首相官邸に送信した内容です。町政にも考察願えるのではないのでしょうか。</p>		
4	<p>施策07</p> <p>p.68 ～p.69</p>	<p>【政策提言】少子化対策の根本強化のための“農業再生”を柱とした国家戦略について</p> <p>1. はじめに</p> <p>日本の少子化対策は長年にわたり「保育・教育費の軽減」「働き方改革」に偏って議論されてきました。しかし、出生率は依然として改善せず、人口減少は国家の存続に関わる重大な問題となっています。</p> <p>本提言は、少子化の根底にある構造的問</p>	<p>施策07「一次産業にあこがれる人を増やそう」において、生業として選ばれる一次産業の実現を図る方針を掲げています。</p> <p>農村集落の再生・維持、地方の再生・維持には、仕事の選択の一つやライフスタイルとして一次産業が身近にあり、魅力的なものであることが必要だと考えます。町として、産業支援を通じて一次産業の振興を図るととも</p>	無

	<p>題として**「農業の衰退」と「地方人口の崩壊」**を指摘し、日本の未来を守るために農業・地方再生を少子化対策の中心に据えるべきである、という視点を示すものです。</p> <p>2. 現在の少子化対策の限界</p> <p>政府はこれまで保育無償化・児童手当拡充・働き方支援などを進めてきましたが、出生率は反転していません。</p> <p>その最大の理由は、“人が住む地域そのものの弱体化”という構造問題が手つかずになっているためです。</p> <p>特に「農業の衰退」は、地方の経済・コミュニティ・雇用・若者流出など多方面に影響し、出生数の減少を加速させています。</p> <p>3. 農業衰退が少子化を引き起こす 4 つの構造</p> <p>(1) 地方経済の崩壊 → 出会いの減少・結婚率低下</p> <p>農業は地方の基幹産業であり、衰退は地域そのものの維持を困難にします。その結果、若者の都市流出、学校・商店の消失、コミュニティの弱体化、出会いの喪失、結婚の減少という連鎖が起こり、出生数は自然と減少します。</p> <p>(2) 農家の収入不安 → “子に継がせたくない産業”に</p> <p>農業が儲からない現状では、家族経営が維持できない、農地が放棄される、親が子どもに継がせられない、子が農業を将来の選択肢に入れないという悪循環が生じます。これは世代継承が前提である農業にとって致命的であり、結果として地方の人口減少を加速させます。</p> <p>(3) 食料自給率の低下 → 将来不安 → 出生行動の抑制</p> <p>食料安全保障は国家の基盤です。国内生産力の低下は“将来の不安”を国民に与え、出生行動にも大きく影響します。国家の基盤が弱いほど出生率は下がる、という国際的研究も存在します。</p> <p>(4) 農業が強い国は少子化が緩やかという事実</p> <p>農業を国家戦略として支えている国ほど…、地方が活性化、若者が地域に残る、家族形成が安定、出生率の低下が小さい、という傾向があります。</p>	<p>に、その他の産業支援、生活環境の整備等、多方面から持続可能なまちの実現に取り組みたいと考えます。</p>	
--	--	---	--

		<p>日本は農業の弱体化と同時に出生率が急落している点でも、関連性は非常に強いと考えられます。</p> <p>4. 政府に求める政策転換</p> <p>◆政策1: 少子化対策の柱に「農業再生」と「地方再生」を明確に位置づけること</p> <p>少子化は都市問題ではなく、“地方の人口基盤の崩壊”こそが本質であるという認識を政策の中心に据えることを求めます。</p> <p>◆政策2: 農業を“儲かる産業”にする価格政策の導入(2030年までに米価2倍へ)</p> <p>農業が持続可能でなければ、地方の人口は維持できません。具体的には、米価を2030年までに現行の2倍水準へ、生産者が赤字にならない価格政策、農地保全のための直接支払い制度の拡充、スマート農業導入支援、これにより農業を「継ぐ価値のある産業」に転換できます。</p> <p>◆政策3: 若者の地方定住・就農支援を大幅に強化</p> <p>新規就農者への収入保障、初期投資(機械・農地)の支援、家族で暮らせる住居支援、結婚・子育て支援を地方で優遇、地方で家庭を築く環境を整備することは少子化対策の土台となります。</p> <p>◆政策4: 農業・地方を国家の安全保障の一部として位置づける</p> <p>防衛力と同様に、食料供給能力は国家の存続そのものと明確に位置づけ、政策の優先順位を引き上げるべきです。</p> <p>5. 結論</p> <p>日本の少子化問題は「農業の衰退」と「地方人口の崩壊」という構造的な原因を抱えています。</p> <p>この問題に対処しない限り、どれほど都市中心の施策を積み重ねても出生率は改善されません。</p> <p>農業を再生し、地方を再生することこそが、長期的で持続可能な少子化対策となります。日本の未来を守るため、「農業再生 × 地方活性化 × 少子化対策」を一体として進める国家戦略の実行を強く求めます。</p> <p>このメールは首相官邸に送信した内容です。町政にも考察願えるのではないのでしょうか。</p>		
--	--	---	--	--

5	<p>施策19 p.94 ～p.95</p> <p>施策31 p.122 ～p.123</p>	<p>◆少子高齢化の問題としての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定された特定の地域は整備されて人口増加している。 ・計画対象外の地域は取り残されて、急速に人口減少している。 ・上万地区は今の状況では8年計画の5年後以降は75歳以上の高齢者が5割以上となり限界集落が加速して自治会の運営が危ぶまれる状態である。 ・農業放棄地など使われていない土地を農地から非農地化に変更し住宅地などとして整備して、人口増に向けた取り組みにより今まで計画から外れて取り残された地域を救済してほしい。 ・道路が整備されることで、住宅地が整備され、放棄地を非農地化することで宅地化されて人口増になると思う。 ・国道9号線から上万海岸へ町道の整備による新住宅地の開発 <p>8年後を見据えて、今まで光の当たらなかった地区にも目を向けていただき、違う視点で魅力ある新しいまちづくりをしてほしい。</p>	<p>施策19【取組方針】1「民間の力を活かして住みやすい住まいを提供する」において、ニーズに応じた分譲宅地の整備を方針に掲げています。</p> <p>人口減少の傾向が続く本町では、宅地に関しては、購入者・入居者のニーズを捉えた適地の選定が不可欠だと考えます。農地の保全や住宅のニーズなど、町内外の状況も踏まえつつ、検討したいと考えます。</p> <p>また、少子化・高齢化によって町内の多くの集落が、これまでと同様の集落活動が続けることが次第に困難になる状況があるものと認識しております。集落運営に関しては、引き続き人口減少対策を講じるとともに、地域自主組織による広域での住民活動の支援、集落機能の維持・見直しなども含め、検討を進めたいと考えます。</p>	無
6	<p>施策09 p.72 ～p.73</p>	<p>◆観光、自然や歴史を別視点で町の魅力を再発見するための意見として</p> <p>大山の環境整備等は当然で、大山町の別の顔の一つとして高麗山の自然の美しさ、観光として魅力を発信するための整備をしてほしい。</p> <p>知名度のある大山にない、知られていない高麗山の魅力を発信する取り組み。</p> <p>①大山との山くらべ伝説をアピールし、大山を引き立てるとともに高麗山を知ってもらう</p> <p>②上万地域など高麗地区の特定の場所から高麗山を見ると、大山が隠れて漢字の「山」の字に見えて全国的にも珍しいため、道の駅などここなら見える観光できるポイントを整備する。</p> <p>③日本昔話にでてくる「山」の形で、大山と違うなんとなく癒される魅力がある。</p> <p>④気楽にハイキング、サイクリングができるようハイキングコースなど散歩道の整備。</p> <p>⑤登山道の整備をして島根半島、日本海が一望できる場所の設置</p> <p>8年後を見据えて、今まで光の当たらなかった地区にも目を向けていただき、違う視点で魅力ある新しいまちづくりをしてほしい。</p>	<p>施策09「資源や人のつながりで観光や商工業を盛り上げよう」において、大山町の自然・食・歴史・文化を観光資源として活用すること、海と山が近い大山町の特徴を活かした観光地域づくりを進めることを方針に掲げています。</p> <p>孝霊山は、大山町の自然の魅力の一つであり、大山の背比べの伝説など文化的な趣もあるものと認識しております。現在は、特に地域自主組織において、登山道整備やトレッキングイベント等で活用が図られているところです。ご意見いただいた具体的な各種事業については、今後の施策展開の際に参考とさせていただきます。</p>	無

7	<p>施策09</p> <p>p.72 ～p.73</p>	<p>◆観光、自然を別視点で町の魅力を再発見するための意見</p> <p>上万海岸を観光拠点の海岸として、全く違う視点から整備してほしい。</p> <p>①現在はサーファーも多く、サーフィンの隠れスポットになっているためサーフスポットの整備</p> <p>②安心して釣りができる海釣り専用の場所を整備する。</p> <p>③海浜公園や海の駅として、キャンプ場、オートキャンプ場を備えた場所として整備する。</p> <p>④海岸沿いに整備されているサイクリングロードを休憩場所などのポイント地点として整備する。</p> <p>⑤国道9号線から上万海岸へ町道の整備</p> <p>8年後を見据えて、今まで光の当たらなかった地区にも目を向けていただき、違う視点で魅力ある新しいまちづくりをしてほしい。</p>	<p>施策09「資源や人のつながりで観光や商工業を盛り上げよう」において、大山町の自然・食・歴史・文化を観光資源として活用すること、海と山が近い大山町の特徴を活かした観光地域づくりを進めることを方針に掲げています。</p> <p>町内には、サーフスポット、釣り場、キャンプ場などが多数あり、その魅力的なまちの資源を観光にも活用できるよう取組を進めています。ご意見いただいた具体的な各種事業については、今後の施策展開の際に参考とさせていただきます。</p>	無
8	<p>施策02</p> <p>p.56 ～p.57</p>	<p>◆歴史を再認識するための意見として</p> <p>浄満原合戦が行われた歴史上の戦いの場所「上万原」を知ってほしい。</p> <p>1571年に毛利と尼子が戦った場所として説明案内碑を設置して知名度を上げる。</p> <p>尼子軍が海から上陸した可能性が高い上万海岸も後世に伝えたい。</p> <p>この時代だと思われる五輪塔が上万地域内に多く残っていて本格的な調査が必要。</p> <p>8年後を見据えて、今まで光の当たらなかった地区にも目を向けていただき、違う視点で魅力ある新しいまちづくりをしてほしい。</p>	<p>施策02【取組方針】2「大山町の魅力を集め、発信する」において、まちのあらゆる資源や魅力をわかりやすくまとめ、町内外にまちの情報を発信することを方針に掲げています。</p> <p>まちの歴史や文化を理解することは、まちへの愛着を感じ、まちの良さを活かすことにつながる側面があるものと認識しています。町で記録を残すこともあります。地域自主組織が中心となって地域の歴史を聞き書きし、後世につなぐといった取組も行われています。ご意見いただいた具体的な各種事業については、今後の施策展開の際に参考とさせていただきます。</p>	無
9		<p>①キャッチコピーのサブタイトルに違和感。「豊かさ」では日本語として変です。「豊かに」とか「豊かさを」とかとされたらどうでしょう。・・・すみません、私若いころ出版社編集部におりましたので気になりました。</p> <p>②字が細かい説明表は不要です。見る側に説明しないとわかりづらいものはカットしてください。見たら誰でもわかるように簡単に表現してほしいです。</p> <p>③だらだらと説明が長すぎます。ただ総合計画を読んでいるだけでは説明になりません。時間の無駄です。聞く方はいらしました。</p>	<p>基本理念の副題「人と人、人と自然が紡ぐまちの豊かさ」に関しては、基本構想(令和7年6月27日策定)において決定した内容であるため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>各種表・グラフに関しては、計画案 p.50・p.51 に「基本計画施策の見方」を掲載しています。ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>住民説明会における進行・内容に関しては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

		<p>以上、内容については練りに練った計画案 でしょうから、あくまでも美辞麗句に終わら ないように、住民の意向を十分に聞いて実践 していただきたいと切に願います。</p>		
--	--	--	--	--